

續醫鈔

二

性全集殘缺
共二十一冊
一

武日
134
/





頌醫鈔卷第二

性全集



八味順氣散

小續命湯

附子湯

乳薑附子湯

獨活湯

溫中生薑湯

白散子

三黃湯

松節湯

防風湯

川芎肉

排風湯

八風散

清神散

七聖散

活風烏荊肉

四生散

省風湯

黑神肉

香芎餅子

川芎茶調散

防風散

又樣
二方一方

附子散

烏金散

醒風湯

又樣

加減三五七散

三聖散

苓朮湯

五痺湯

漢防己散

方獨活散

麻黃散

活血丹

稀涎散

桂心散

諸風

○夫風ハ天地山川ノ氣トシテ陰陽寒暑ノ變ヲナス若
 時ヲ失ハサル時ハ則チ一ク物ヲ生長シ群庶ヲ養育ス若シ
 節ニタカイニ時ハ即チ千品類ヲ觸冒シ黎元ヲ傷害シ凡
 春ハ東ヨリ來ル風ヲ郷ヨリ來ル風ト名ク是ニ尤ア尤ヘシ
 恐ルヘカラス若西ヨリ來ル風ヲハ郷ヨリ來サル風ト云金ハ
 木ヲ尅スルヲ以春ノ西風ヲハ深ク恐ルヘシ古人モ是ヲ去ル
 夏ハ矢ヲ去カ如ニセヨト云ヘリ人はニ破ラルヲ中風ト云也

余ノ三方ノ風ニハ雖當惡カラス夏ハ北風ヲ恐ヘシ夏ハ火王
 ス北ハ水ノ方也水火ヲ尅スル故也土用ニハ東風ヲ恐ヘシ土用
 ニハ土王ス東ハ木ノ方也木ハ土ヲ尅スル故也秋ハ南方ノ風
 ヲ恐ヘシ秋ハ金王ス南ハ火ノ方也火金尅スル故也冬ハ又南
 方ノ風ヲ恐ヘシ火土同宮トテ土南方ノ火ノ位ニアリ冬水
 王ス土水ヲ尅スル故也此四時邪風ハ春九十日ヲハ名テ清
 風ト云人ヲソコナフハ肝風トス夏九十日ヲハ名テ陽風ト
 ス人ヲ損ヲハ心風トス秋九十日ヲハ名テ涼風トス人ヲ
 ソコナフハ肺風トス冬九十日ヲハ名テ寒風ト云人ヲソコ

ナウラハ腎水トス人邪風アリ云ク人剛ノ庭巷門戸窓牖ノ逆気也是ヲハ尋常ニ通ノ風トモ云スキ剛ノ風トモ云是ハ天ニ風吹サレ此氣ハ常ニアリ人常ニ是ニ當ハラボヘスメ人ノ膚肉ヲ虚シメ人ノ百脉ニ入五藏六府ニ流レ止テ病ヲ生也

五藏ノ中風ノ相

○肝藏ノ中風ハ常ニ跪坐テカウヘヲウナシタル夏アタハス兩目及ヒタイノ凡青ニメ汗多タリ左ノ眼ヲイタニ其キ味ヲ好テ胆婦ノ形ノ如シスチウテ展ス若唇青メ面ノ色

黄ナルハ生ヘシスミヤカニ肝輸百壯炎スシテ藥ヲ与フヘシ遍身青黒ニ面色一度ハ黄ニ度ハ白クカハルハ肝藏ステニ破タル也治ヘカラス數日ヲ経テ死ヘシ

○心藏ノ中風ハ只ヤスミ卧ヲ好テ傾側スルコトアタワス汗出クチヒル赤シテ汗出ハ生ヘシスミヤカニ心輸ヲ百壯炎スヘシ○三日方ニ云心ノ中風汗多タリソノロサムク身色赤クサシホトラリ物云ス食スレハ反吐シ舌ノ色コカレ色ニ赤シト云リ若唇或ハ青タ或ハ黒或ハ白或ハ黄ナルハ心ステニ破レタル也治スヘカラス時ヲヒヒ恐ル形チアルハ五六日ニメ死スル也

○脾藏ノ中風ハ腹フルレ通身少黄ニシテユキ物ヲ吐キ汗
多タリソノロサムク手足ウコキフクヒ息短ク飲食セス眠ル
コトヲ好ム酒醉タル物ノ如シ唇黄也スミヤカニ脾輸ヲ百
壯灸ヘシ若手足ノ色青キハ治スヘカラス

○肺藏ノ中風ハ偃卧シテ胸滿息短クモタヘクルシニ汗
出目ヲタレ身ノ色白クロカワキ喘シ気上リ身重ク背痛ニ
顔少腫唇白心地少シ吉夜ハワワラワシク鼻ノ色白シスミヤ
カニ治スヘシ肺輸ヲ百壯灸スヘシモシ身顔色黄ナルハ肺
ステニ破タリ治スヘカラス其人空ヲツカミ地ヲサシ衣ノ

縫目ヲ尋子アツカウ必死也

○腎藏ノ中風ハ跪坐テ腰ヲイタミ常ニ左右ノ股ヲ飯リ
見ル汗タリソノロサムク身ノ色黒ニ身少腫腰背骨イタミ
臍ノ下ヒキツリ痛卧汗タリ耳ノ色殊黒シスミヤカニ腎ノ
輸百壯ヲ灸スヘシ齒ノ色黄ハニ鬢髮スクニ頭面土ノ色
如ナルハ治スヘカラス

○八味順気散
嚴氏濟生方出タリ又ハ人參
順気散ト名又通気驅風湯ト云此藥諸中風ニ寒熱
虚實ヲ云ス先是ヲ与ヘシ是則氣ヲ調ル故也氣ヲ調

テ后病ノフルニイラ見テ五藏ニ當ル所ノ藥ヲモ与へ自餘

治方ヲ施スヘシ
白朮ク 白茯苓ク 青皮ウラコソケ

陳皮ク 人參各五分 甘草半分 是等八十文目ハカリナリ

私云此藥六味如何檢他木香白芷入ヘシ

右細末メ毎服三錢ノ量サ水一大盃ヲ入テ七分ニ煎メア

夕カニテ時ヲ定ス日ニ三四服セヨ時々蘇合用ヲ酒ニスリ

テアタメテ一ジ丑服セヨ

○小續命湯千金方 俄ニ中風メ死ナントシ身或ハ緩或ハ

急ニ目口ユカミ右コハリ物云夏不能神情則絶スヲ治ス

此藥ハ諸中風ヲ治輕重表裏淺深ヲ問ス是ヲ与ニ皆知

アリ又脚氣ノハヨワク天ノ曇云時ハ骨筋痛キヲ治ス

防風一分二分 麻黃根節ヲ去湯ニ入テ 防己人參 羌活去

黃金 桂心アフラボヲ去 杏仁 白芍藥 甘草アフル

川芎各五分 附子二分 右細剉合テ毎服四錢水一盃

生薑七片棗二入テ七分ニ煎メ滓ヲコシテ時ヲ定ス常ニ

服スヘシ若中風ノ人心ヲレテキヒキヘセハ茯神遠志ヲ

一々ツ加テ煎ヨ遠志ハ芦ヲキリノケテ根ハカリヲ取テ

ヨクク洗テ打ヒシキテ中心ヲトツテ捨ヨ根ハハカリトリテ

アフリテカケ合ルナリ若中風ノ人骨節ホトヲリヒ、キイタ
一ハ糞スト知テ附子ヲ去テ芍薬ヲ一倍シテ加テ服セヨ若
若腹中冷氣アリテ痢下ラハ黄金ヲ去テ白朮一匁ハ
カリ加テ附子ヲ分兩ヲ増テ入ヨ若骨肉冷痛ニ肉桂
子ヲ増テ入ヨ若物ニラヒ且驚ハ犀角ヲ一兩キサニテ
加ヨ若カラエツキシ腹ヲクハ人參ヲニシテ半夏ヲ加テ
若汗多タラハ麻黄ヲ去ケ若大便トコヲリテ下ラス胸
ヲサカリクルシクハ枳實ヲウラヲコソケステ、コニカニキサニテ
小麦ノカスニニセテカラクト炊テ大黃一匁ヲ加テ煎ヨ氣

アカリカサテ通セスハ沈香一匁ヲ加ヨ若喉ニ痰アリテ塞ラハ
天南星ヲ紙ニツ、ニテアツ灰ニウツニテフククトムシテ取出
テ皮ヲ去テキサニテ一匁加ヨ若物云ントスレハ失タルニ杏
仁ヲ一倍入ヨ若身ホトヲリ喉カワカハ麦門冬、乾薑一匁
ツ、加ヨ遍身トキキ痛ハ秦芫ヲカフオキリテキサニテ兩
加ヨ若氣上リ面腫アヘキセハ防風ヲ一匁加ヨ凡此藥ハ久ク
服シテ効アリ只始ヨリ此藥斗リ服ルコトハ聊氣塞テア
シキモ更モアリ先ハ味順氣散ヲ服シテ后ニ如此ノ病ノ形
ニ隨テ減シ加ヨアタフルニ愈スト云更ナシ是則五藏ノ中風

搥藥也又中風ニイツレノ藥ヲ服スト云トモ藪合丹ヲ常ニ
一ニ正テ服スヘシ但身冷手足ノウラ冷ハ藪合丹ヲ火テ
アフリ子リ湯テスリテ服セヨ是ハ第一ノ古實也心ヲ委
細ニシテ用ヨ

○附子湯三日方 五藏ノ中風ヲ通テ治也手足不仁
シテ口面喎邪目クルメキ頭重ク音失物云ス目ウルキヲ
トカイナカヒテ轉動スル夏アマワス氣滯ルヲ治ス

附子炮メ皮ヲサケテ 桂心キタ 細辛 防風 人參 乾薑
炮セヨ各六錢重 右咬咀シテ毎服四文水一盃半薑五片干棗

ニ入テ七分ニ剪メ滓ヲ海メ食前ニ服ヨ或ハ細末メ毎服二錢
ヲ酒ヲ以服スヘシ

○乾薑附子湯千金方 心藏虚寒ニ中風シテ半身隨ス
骨節トケハナル様ニイタミヨワクナヘテハタラカス大小便シケク
下リ口面ユカメルヲ治ス 乾薑 附子各五 桂心アテ皮ヲサケテ

上黄根ヲ去各四 川芎三反 右咬咀シテ毎服四錢水一盃半
生薑五片入テ一盃ニ煎メ日ニ三服

○獨活湯三日方 中風ノ物云コトアマス手足ナエテ不治
ヲ治ス 白芍藥 枯藪根 獨活 桂心各三反

右細剉合テ每服四錢スルヒ水二盃生姜五片入テ六分ニ
煎メ滓ヲコシテ後ニ生葛ヲツキシホリ汁ヲ一合入テカキ
立テ服セヨ

○温中生薑湯千金方 肺ノ中風ノ虚冷シテヤセカレ手
足ナハヨワクハナクテム子濁フクレタルヲ治ス 生薑二片

桂心アラ皮ヲサケヨ 橘皮 各四分 甘草 六分 右咬咀シテ每

服四錢ヲ水二盃半入テ一ツク黄ヲ煎スルコト二三度カヘ
シテ沫ヲステ一合テ一盃ニ煎メ滓ヲ漉メアツクテ日ニ
二三度服セヨ

○白散子三日方 肝ノ藏中風ノヨタリ喉ニツニリ塞テ心

ホレテ物云ス痰沫ヲハキ頭オヲク目眩メキ上実下虚シテ

胸ヨリ満フサカリホトヲリクシク胸ヨリ下ハ虚冷テヨハク

カラナキヲ治ス 大附子炮セズ皮ヲ去テ用 滑石 各二分 半夏ニ分ニ如常

右細末メ每服二錢水二盃生姜七片蜜ヲナツメノセイ程

入テ七分ニ煎メハシカミヲ去テ藥ハ滓カラカキ立テ空腹ニ

服スヒヤシテ服スルを吉此藥ハ葶藶丸ニモヨシ葶藶香ヲ加テ煎

テ服ス

○三黄湯三日方 中風ノ手足ツリスクニ百節疼痛煩

熱心乱サムケ立飲食進ズ半身隨ス音失テ物云サルヲ
 治ス 麻黄^{五分} 黄耆^{五分} 黄芩^{三分} 独活^{一分} 右吹咀シテ
 毎眼四錢ノ量サ水一盃半入テ七分ニ煎テカスヲフシテ時
 フ定ス日ニ二三度服セヨ汗少出テ吉若胸熱セハ大黃半
 兩ヲ加テ腹脹滿セハ枳實ヲ一分加ヨ若氣逆上セハ人
 參三分ヲ加ヨ若心キエセハ牡蠣三分ヲ加ヨ若咽乾ハ桔
 萸根ヲ三分加ヨ若身寒セハ附子三分ヲ加ヨ
 ○松節散 三日方 風寒^{温冷}ニラカサレテ筋骨ツリ行歩
 スル^{アタ}ハス諸ノ筋ツニリ疼痛スルヲ治ス

茯神^{心木} ^{コカニキサミテ反} 乳香^{一錢} 蜜^{一錢} 桂心 橘皮各三分
 白朮^{四分} 附子^{炮^{九分}シテ反} 甘草^{二分} 大棗^{三十枚}
 右吹咀シテ毎服三錢ノ量サ水一盃半入テ一分ニ煎テ
 滓ヲコレテ大麻仁ノスリタルヲ梅ノサ子ホド入テ又少煎
 メトカシテ日ニ二三服セヨ
 ○防風丹 和劑方 一切ノ中風ノ痰熱ノムトニツニリテ
 頭イタク心地アレク項背ツリコハリ目クルメキ心ホレ手足
 カナク骨節ヒイラキシヒレルフトモアリ物云事タヤスカラ
 ス心ヨリ子フサレサルヲ治ス 天麻^{苦頭ヲ去} 川芎^{酒ニシメセニ反}

防風 甘草 アツレ各二分 辰砂 半分スリテ 石細末 メ煉蜜

ニテツキ合テハカリニカケテ一匁ヲ十九匁辰砂ヲ衣ニシテ

毎服一丸ヲ荊ノ煎物ニテスリトキテ日ニ三服時ヲ定ス

眼セヨ薬ヲメテハカミクダキテモ服ス又酒スリテモ服スヘシ

○川芎 丹和劑方 諸中風ノ痰ヲトカントントノフサカリ

メラシ頭イタシ目クルメキ心ホレテキモキエシ胸熱リ息短

ク手足遍身ホトヲリヒラキ皮ヘカユカリ目ノ中イタシ鼻

塞面色皮ヘニ虫ハムカ如ナルヲ治ス 竜腦 薄荷葉

カウハニキヲ竜腦ニシタル故ニ云ナリ 川芎 各二分 枳椇 十五分 細辛 三分

防風 三分 甘草 二分 石細末 メ煉蜜ニツキ合テ一

匁二分ニワケテ一匁二分ヲ十九匁ニ月メ毎服一匁ヲカミ碎テ

蠟茶ヲカヘテ湯ニテスリトキタルヲスニシテ服スヘシ食后

臨卧ニ与ヨ

○排風湯 和劑方 男子婦人ノ風冷ニソコナワレテ

狂言妄倚語精神錯乱ニ肝風起時ハ則面青ク心

苦ニカラエツキシ沫ヲハキ服ノ下滿フクニ頭ヲモク目クルメキ

耳ヲホロニシテ音ヲキカス遍身カレカハテ筋ツリカニリ

卧心風ヲアル時ハ即面赤ニテホトヲリ悲ニ怒リ目ヲ見

ハリテ呼喚ス脾風起時ハ則面黄ハニ身躰不仁行歩
 スルコトアタハス飲食味ナク萬々驚キヲヒハ死人ニ相合夏
 ヲ惡メニニル肺風起時ハ即面白ニハフキニ膿血ヲツワキニ
 氣上若ム腎風起時ハ則面黒ク手足墮ス腰イタミ
 俛仰シカメシ通身シヒレ冷テ骨ヒイテキイタム諸中風
 ノ此相アルニ通メヨシ心定ズ常ニホレテ物忘シヲトクヲ治
 スアテ皮ヲ去キカワシ
或説ニホカイノ根 白茯苓皮ヲ去 獨活 大黃根ヲ去
三々各 白鮮皮
 當歸 防風 甘草炙 杏仁各二反 右藥末メ每

眼三錢水一盃半入テ八分ニ煎メカスヲフシテアタメカニシテ
 眼セヨ時ヲ定ス日ニ二三服セヨ 千金方ニハ生姜四片
 ヲ加テ煎則三刻眼メ一切ノ中風平愈スト云ヘリ
 常ニ服スレハ心ヲカロクシテ志ヲ定メ耳ヲトラシ目ヲアキ
 ラメ藏府ヲトコヲリヲ去諸風ヲ除ト云リ
 ○八風散和劑方 中風ノ風氣上セメテ目クテラク頭
 重ク手足及通身ノ筋ツリホトヲリヒイテキ皮膚ニカ
 ヲキ蒼生シ寒氣塞テ調ズ鼻塞物ヲカズ声アサ
 ヤカナヲサルヲ治ス 人參 黃耆 甘草キサミアフル
各十反

防風 羌活 各五文 白芷 前胡 各五文 藿香 葉 二分

右細末メ毎服二錢水一中盃薄荷ノ葉十ハカリ入テ

七分ニ剪メカスヲ瀝メ食后ニアタメテ服セヨ小兒ニハ

乳香ヲ剪タルニ蠟茶ヲスリトキテ此藥ヲ半錢カキ

立テアタフヘシ歳ヲハカラヒテ加減シテ与ヨ

○清神散 和劑方 中風ノ氣塞テ痰咽ニカタニ

リタルヲ去テ及頭イタク重ク目クルメキ心ヨハクキモキヘ

シ面ホトヲリ耳鳴鼻塞声アサヤカナラス目口引遍

身ヒイラキ頭項スチツリ胸咽フサカルヲ治ス

薄荷葉 多キ板ヲ 荆芥穗 各十文 羌活 カフヲ 防風 人參

白檀 各五文火ニアテズ 細辛 二分 甘草 一分 石宵 一分

右細末メ毎服飯リ湯ニテ服セヨ茶ヲ少シ入テ服スル

弥ヨシ食后ニフクス

○七聖散 和劑方 風温諸ノ筋ニ入テ手足諸ノ

ツキメナヘテ随ス心足膝ヒラキイタムヲ治ス

牡仲 續斷 草薺 防風 独活 牛膝 酒ニ浸メ

耳草 アフリテ 右細末メ毎服二錢

アタメル酒ニテ服ヨ時ヲ定ム日ニ二三服ス

○活風烏荊丹 和劑方

諸中風ニ通メヨシ又腸風下

血トテ血ヲ多下ス病ニ殊ニ効アリ

川烏頭

三五ヲ

紙ニツミテ水ニシメシテアツハイニ埋ヨクムシテ取出

一時置テ黒汁ヲ

荊芥穗

六匁カラクトホシテスレナラニメリタラハ火ニ

右細末メ米糊ヲ醋ヲ以ユルツ子バツ子リテツキ合テ

○此ホトニ丸メ毎服三十九アタメル酒ニテ服セヨ沸湯ニ

テ服ス空心ニ日ニ二三服

○四生散 和劑方

男女ノ肝腎ニ藏ノ中風ノ氣上

テ目赤ク身或時ハヒイラキ或時ハカユカリ目クラウシ

テ明方ニ向ハ涙多タリ足ヒサニ瘡ヲ生シ及遍身ニアハヒ

瘡出テ其中カユカリテ諸藥ヲ服スルニ効ナシ是ヲ

服スルニ効アラスト云々ナシ 茯苓 羌活

白附子

各火ニアテガ

右細末メ毎服三錢薄荷ノ煎物ニ

酒少入テカキ立服セヨ若腎藏ノ中風コシヨリ下ニ

瘡生シコシイタムニハ猪腰子ト云物ニ此藥ヲ裹ルホト

中入テウエヲ紙ヲモテ裹テ水ニスラシテアツ灰ニヨクク

ムシテ空心ニカニクタキテ酒ヲアタメテ塩ヲ少シ入テ吞ヘ

シ腰ノイタムコトヨシ

○省風湯和劑方

俄中風シテ齒ヲクヒツメテ物云コト

アタハス目ロユカミ筋ツリ遍身ヒイラキイタミ痰咽ニ

堅リ目メクリタラシ頭ヲモク目クルメキ胸塞滿少ホトヲ

リ左右或ハナ丑或ハスクミ手足スクミ骨節ホトヲリイタ

ミ行歩スルコトアタハス心ホレテ定スタニイ昏々タルヲ

治ス

防風罌

甘草各二匁

天南星

各二匁

半夏

白水ニヒタシテ一夜置テ
アライテアフル 黃芩各二匁

右吹咀シテ毎服四

錢水二大盃生姜十片八テ一中煎メ滓ヲコシテアタハ

カニテ服セヨ時ヲ定ズ日ニ二三度服ヨ

○黒神丹和劑方

一切ノ中風手足ナヘスクミワナキフ

ルヒ遍身シヒ片背ツリイタミ骨節ヒラキイタムヲ治ス

及婦人ノ血風トキ下若ハ月水ノト、ヲホリテシカモ風ニソ

コナワレテ頭ヲモク目クルメキタニシイホレヨハキヲ治ス

牡丹皮

白芍藥

川芎

麻黃

根節ヲ去テ
各四匁 赤芍藥

甘草各十匁

荊芥穗

草烏頭

各六匁
炮セヨ

烏頭

何首烏

白水ニヒタシテアフル
各十匁

右細末米粉ヲ糊ニ

子リテツキ合テ○此ホドニ丸メ毎服一二丸カミ碎テ

飯湯ニ茶ヲタテ酒ヲ少入テカキ立テ服ヘシ時ヲ定ズ

二三服之婦人ノ血風六豆淋酒ニテ豆淋酒トハク口
ニメ吹テ酒ニ入テ其汁出ヲアタメテ服ルナリ頭痛ニハ
茶湯ニテ飯立テ葱ノ白根二三本ヲカミテ薬ニカミ
合テ服スルキハメテ効アリ

○香芎餅子葉氏方

諸ノ中風ノ頭イタク寒シテ

立勤ツリメツキヲモク目クルメキ通身疼痛鼻塞声
アサヤカナラス常ニアクヒニ鼻塞タルヲ治ス又目クタク冷涙
目ノ中ニ赤ケスナライ白眼ニ肉ムラヲヒ出テ及面ニ黒ア
サハワクロイテキ頭カユクシテカミノ子ニ白キイロコ多ク

是皆風也此藥通メ是ホヲ治ス

趙良實ト云人人傳也

天麻反カラヲ

川芎五ク

白芷ニ反 石細末メ蜜ヲ以ツキ合テカゲテ一兩ヲ三

十丸テ平ニ作テ餅ノ如シテ毎服一ヲ酒テモ飯湯テ

モ茶ヲ立テモカミ碎テ服ヨ

○川芎茶調散和劑方 男女ノ諸ノ中風ノ氣上リテ

頭重ク目クルメキ頭痛クヒラキ鼻塞声オアル及

婦人血風ヲ治ス 川芎 荆芥穗各四反 白芷

羌活 甘草アヲリテ各ニ反 防風一反 細辛各一反 薄荷葉

香附子各八分 右細末メ毎服二錢食后ニ茶ヲタテ、
日ニ二三度服セヨ

○防風散 聖惠方 中風声ウセテ物云コトアタハス

目ヲフサキテ閉ズ息引短クツリ死ナムトスルヲ治ス

防風一分 羚羊角 独活一分 赤箭一分天麻ノ 當飯ワカサ

杏仁一分湯ニヒタシテトカリ去 茯苓半分 大黃二分 桂心一分

前胡半分 甘草半分 右細末メ毎服四錢水一

中盃入テ生姜三片入テ六分ニ剪メ滓ヲコシテアタカ

ニテ時ヲ定ス日ニ二三度服ス 又様下ニアリ

○附子散 日方 中風声ヲ失ヒ物云ス手足冷上リテ腰折

ヲ治ス 附子一分 細辛一分 乾姜一分

甘草一分 桂心一分 麥門冬一分 独活一分 當飯一分

白朮一分 右細末メ毎服四錢水一甲盃入テ六分ニ剪メ

カスヲコシテ時ヲ定スアタカニテ日ニ二三服セヨ

○烏金煎 日方 中風ノ音ヲ失テ物イワス胸ホトヲリ

テ頭痛ヲ治ス 黑豆二分 羌活二分 独活二分

荊芥穗二分 右細末メニツ黑豆ハカリヲ水五火盃入

テニタラカシテ一メヲ捨テ汁ニ残ノ藥ヲ皆入テ十度斗リ

二飯テ吉酒ヲ一升入加テ子ツトナルホドニ煎シナレテ瓶子

ノ中ニ入テ置テ毎服クルミノカタワレホドアタメ酒ニテ服セヨ

○防風散 日方 中風ノ目ロユカミ手足随ス風藏ニ

入テ言コトアタワス心ホレタニシイタキヲ治ス

凡中風ノロユカミシコトハスキテ風耳ノ穴ヨリ入テユカム

コトヲナス也深クツシムヘシ

桂心一匁 川芎二匁 羚羊ニ匁 ニスレ 人黄子ヲ去 杏仁ニ匁

薏仁一匁 ツシタニ 右細剉合テ毎服四錢水一中盃入テ五

分ニ煎テ滓ヲコレテアツウテ服セヨ竹壺ヲ入テ又煎メ

又煎メ服スルヨシアツテ服シテ汁ヲタラスヘシ

○一方事證方 中風ノ口目ユカミタルヲ治ス モロコニ 蓖麻子

東五指タル枝ノ実七粒 西五指タル枝ノ実七粒 取テ 皮ヲムキステ子ツト子ヤシイタケ 右ユカミタル子ノ

ウテノ心ニ餅ノヤウニヒラメテヲシ付テ土卷ニテモ又少キカ子

ノ盃水小葉麩ノ様ナル物ニアツキ湯ヲ入テカマハスヘシ但シ

ロニユカミニ付テ古ヨリ人ノ心得タルハ目口ノツリタル方ヲハ

中風ニ相見方ト云ツラレテノヒタル方ヲハ病ナキ方トス

是ヨリテ葉木ノカギヲカクルコトモツリタル方ニカクル也

是ハ不可然其故ハ中風ノ病ノ源ト見嗚邪ヲ尺ヒシテ云

邪気ハユルニ正氣ハ急セ正氣ヲ引テ喘僻ニテ随スト云リ
コニ知ヌ申風ニタル方ハユルウシテ引レタルタシキ方ハツルニ
是ヲヨク心得テ引ツラレテ展ル方ノ手ノ心ニ此藥ヲ付
ヘシロニ棄ノカキヲカクルコトモツラレタル方ニカケロノユカ
ミヲ引ナラスヤウニスヘシ尋常ノ人知レル所ニハ大ニカハリ
テ心得タル也又巴豆ヲ七粒カハラムキテ子ヤシテ如此
付也スコシモカワラス但シ巴豆六粒ニ毒アリヨクアラヒ
ノツクヘシ巴豆ハナラシルニ速也常ニ藥ヲヌリタル方ノ手
ノ中指ヲ引ノヘクスヘキ也

○一方千金方 口眼喎邪ヲ治ス 大ナル皂莢兩ヲア
ラ皮トサ子トヲ去テ細末メ二三年ノ古干酢ニ子ツトト
キテユカミテツラレタル方ノカホニヌルヘシカワカバヌリクセヨ
キワメテ効アリ

○一方千金方 口眼喎邪ヲ治ス 右葦ノ竹筒ヲ長
サ五寸ニキリテタカクヲ耳ノ穴ニ入テスキニヲ小麦ノ粉
ヲ水ニテコ子テヌリヲタキテ今片方ニ黑豆ヲ一ツツシカ
イテ其一メノ上ヲ大ナル艾三十壯灸ヘシ火氣耳ニ入テ必
効アリ是モツラレタル片耳ヲ治スヘシ 是キハメテ効アリ

リタヤスク人ニ傳ヘカラス

○醒風湯 葉氏方 中風ノ左右或ハスクミ目口カ

ニ筋ツリカニリ手足ニカ無行歩アタハサルヲ治ス

附子 一ケ炮セシテ皮脗ヲノソケ 天南星 炮セスメキリヘキテ 白朮 半匁

當皈 半匁 水香 半匁 烏藥 三錢ノ重サ 白附子 半匁

防風 半匁 白芍藥 半匁 右麻末メ毎服四錢水

一盃半姜七片入テ八分ニ剪テ滓ヲコシテアタカニ
テ時ヲ定ス服セヨ日ニ二三服

○加減三五七散 筒易子 八風トテ八方ノ風ニソコナワレ

五痺トテ身ノシヒルコト五種アリ及手足或ハナヘ或ハスク

ミ手足ヲ引目ユカニカタヒキウナシ背ツリカ、ニ齒ヲ

クヒツメ胸ノ中ホトヲリタル面ノ色酒ニ醉タル如ク遍身

發熱シ骨節ホトヲリ或ハ出ノハウヤウニオロノ頭イ

タク風腦ニ入テ頭ヲモク目クルメキ船車ニ乘ルヤウニ

ヲア耳ノ内蟬ノ鳴声アリ或雨風ノ音ヲ聞ヲ治ス

此藥又風寒湿ニヲカサレテ身シビレ及脚氣ノ足ヨリ

キニ尤ヨシ 防風 山茱萸 サ子ヲカラ用 茯苓

乾姜 炮シテ各三分 細辛 一分半 附子 炮メ皮脗ヲノソケ 右細末

毎服二錢ヲ酒ヲアタメテ服セヨ

○聖惠方ニ頭風及目クルメキ身イタムニ、防風

山茱萸 川芎 其苜辛 細辛 天雄炮テ

山藥 各半々ヲ 細末メ服ス是ハ山茱萸散ト名

○三聖散 是奔方 手足ツリ目口ユカミ脚ヨハクシ

テカナク行歩タシカラス及痰ノムトニツルヲケシト

カスナリ又ハ舒筋散ト名ク

當飯 肉桂アラ皮ヲ 玄胡索イリカセ 右亦分ニ細末メ

毎服二錢酒ヲアタメテ空腹及臨卧日ニ三服セヨ

懷妊ノ者及老人小兒通メ皆服ヘシ

○醒風湯 日方 男女婦人ノ中風ノ左右或ハナハ或ハ

スクニ目口ユカミロクフサキ齒ヲクイツメテ物云夏アタ

ハス半身不隨手足シビレ子ニリ一切ノ風病ヲ去ル

天南星四カユリ湯ニテ七反 其中ニ反 防風四反 右蘇末メ

毎服二錢水ニ盃入テ一盃ニ剪メ空心ニアタメテ服セヨ

頭イタク目クルメクニ尤ヨシ

冬令木散三首方 暑暑氣シニラカサレテ雨ニヌル時暑ト湿

ト氣ムシムホレテ俄ニ中風シテ手足不仁ニ半身カナワズ

骨ツキハナレヌケタルヤウニラボエ或ハ沐浴シテ俄ニニシク
レ倒レ目ロユカニ手足ナエヒク是ハ湿暑ニヲカサレタル也
尋常ノ中風ニハイサカ異也
附子炮メ皮臍ヲ
ノソケ

茯苓 白朮 乾姜炮 澤瀉キリ酒ニヒタシテ
アフリホセ

桂心各半分アラ皮ヲ去 石薺末メ 每服四錢水一盃半入テ
七分ニ煎メ滓ヲコレテ服ヨ

○五痺湯簡易方 風寒湿三ツ相ヲカシ痺病ノ生
五痺トハ筋痺脉痺肌痺皮痺骨痺是也五藏ニ各
コレヲアツ此藥ハ此痺ヲ通メ治ス風湿寒ノ三ツ人ノ膚

ヲオカシヌレハ手足ナヘヨハクシヒレイタミテ不仁也或ハ氣
シヒレトコヲリテ行歩セサルヲ治ス 羌活 防風

薑黃 白朮各一匁 甘草半匁アツレ 右咬咀シテ每服

四錢水一盃生姜十片入テ八分ニ煎テカスヲ漉テ服
セヨ腹ヨリ上シヒレハ食后ニ是ヲ服セヨ若腰ヨリ下シヒレ
食前ニ服セヨ

○漢防己散聖惠方 中風ノ口ヲ閉齒ヲクヒツメテ閉ズ
筋脉カヘツリ身熱リモタヘクルシムヲ治ス 防己三匁

葛根三匁 桂心アラ皮ヲ去
ニ匁 赤芍藥一匁 独活一匁

羚羊角一匁 右麻末一匁 每服四錢ヲ水一中盃生姜五片入テ六分煎メ滓ヲコシテ温ニシテ時ヲ定ズ口ヲコケアケテ服セヨ

○一方中風ノ口ヲ開齒ヲクヒツメテ開サルヲ治ス

独活三匁 桂心一匁二分 右麻末一匁 酒二盃水二盃

ヒトツニ入合テ三盃ニ煎メ滓ヲコシテ丸服ニワケテ温テ口ヲコケアケテアタユヨキワメテ効アリ

○独活散 同方 中風ノ口ヲトケテ齒ヲクヒツメテ

筋ツリテ身ヒイラキイテムヲ治ス 独活二分

黑豆一合半 天南星半匁 炮セヨ 生姜半匁 防风一匁

右割合テ一度ニ皆ヲ清酒五大盃入テ三大盃半ニ

煎メ瓶子ノ中ニヤカテ入テフタヲシテ風ヲヒカセスシテ

半時斗ヲキテ先中盃ヲ滓ヲコシテ口ヲ開テヒニモナ

クアタユヨキワメテシルニアリ 葛葉三ナナ ハ如此煎シテ

スヘシ口ヲ開コト本ノ如クナルニテアタフヘシ若本酒吞サル人

ナラハ少ツ、アタヘヨ又水ヲ以酒ヲ展テモ煎ヘシ

○一方同方 中風ノ口開齒ヲクヒツメテ開サルヲ治ス

附子一匁 炮セヨ皮ヲ去 甘草半匁 桂心半匁 右細末一匁

煉蜜ニテ皂菱子ノセイニ丸メ毎服一丸ツ、アタメル
酒ニスリテロヲ開テアタメヨ立処ニ効有

〇一方千金方 中風ノ口ヲトナ齒ヲクヒツメテ物云コト

アタメハサルヲ治ス 防己 桂心 六黄 各三々
根ヲ去

葛根三々 甘草 防風 芍薬 生姜 四々

右咬咀メ毎服五錢ノ量サ水三大盃ヲ入テ一盃半ニ

煎テ滓ヲコシテアタメカニシテロヲ開テ常ニアタメヨ此藥

瘖瘖ヲ治スルモ効アリ 独活四々ヲ 苦酒二盃

入テ一盃ニ煎テ滓ヲコシテ温テ二服ニ分テアタメヨ

〇麻黄散 聖惠方 中風ノ身軀ナクヨハウシテ目ロエ

カミ舌コハウシテ物云夏アタワズ心ホレテモタヘクルコム

ヲ治ス 六黄 根節ヲ去反 防風一々 黄芩一々

桂心 アラ皮ヲ
去一々 人参一々 附子一々 炮テは臍
ヲ去 石薺末メ

毎服四錢水一盃半入テ生薑五片加テ六分ニ煎メ

滓ヲコシテ温ニテ時ヲ定ス与ヨ日ニ二三服

〇一方日方 中風ノ舌ノ根コハリテ物云サルヲ治ス

三年ノ古味噌五合ニ乳汁五合ホ分合テスリトキテ

布ヲ以コシシホリテ少ツ、常ニ与テ服セシメ又舌ノ根ニ

モ間ナツスレ良久シテ物云ヘシ

○治血丹 雞峯方

風氣ニ侵ルニヨリテ片方ノ

足膝ニカナク漸々ニヤセラトリ股腹ノ筋ツリヒサキ

ス千同ツリ痛テ行歩快ラズ或ハ手足トモニヤセホリ

及病後ニロカワキ不足ニナリテ筋骨カナキヲ治ス

地黄ニク

白芍薬

當飯

續断

白朮各五

右細末メ毎服末糊ヲ酒ヲ以テ糊ニ子リテツキ合テ

○此程ニ丸テ毎服三十九丸ヲ酒ヲアタメテ日ニ二三服

セヨ足ノウラヘニ食前ニ服セヨ午ノウレニ食后ニ服セヨ

○一方是割方

中風ノ十指ノヒラキイタミニシルヲ治ス

附子

南木香 各半分

右蕪末メ毎服三錢水ニ

盪生薬七片入テ一盪ニ剪テ滓ヲフシテ服セヨ午足

ノ指痛ニ食后ニ服セヨ足ヲイタニハ食前タルヘシ

若氣トウホリヨクハ南木香ヲ一シテ多入ヨハ若ヨハ

クナヘタラハ附子ヲ去テ烏頭ヲ炮シコシテ入テ日甚効

アリ此薬昔孫盈仲ト去シ人常ニ指イタム夏ヲウレ

テ其祖此薬ヲアタフルニツイニイ又是病也

○一方經驗方 一切ノ中風ニヨシ諸ノ風病ヲ治ス

稀莖

モナモミニ説ハ
イヌノシリト云是也

右五月五日ニ莖枝葉ヲ皆取

テ湯ヲモテヨク洗テ甑ニ入テ蒸テサラシ又ムシテハサラシ

九度ムシサラシテ後木臼ニテツキフルヒテ米粉シタメ

米粉ノ湯ニテ空心ニ日ニ二服スハ諸風ノ風病ヲ

除ク服シテ二千九ニ至六中風漸愈四千九ニ至ハ

病悉クイユ五千九ニ至テ本ニ復ユナリナラ服シテ

病ハ身ツヨクカサカリニシテ長ク起ラス中風ニハ第一

ノ藥也 昔江陵府ノ節度使成訥ト云者ノ弟ト

訥ト云者アリキ三十一歳ニシテ大中風ニテ床ニ卧テ

五年諸ノ醫方ヲ悉ク試ニ用ニイユズ忽ニ道人ニ相

テ此藥ヲ傳テ服シテ則イユ又此藥ヲ服シテハ即ユルキ

粥若ハ湯ヲ服メ藥ヲ押下ヘシ五月五日ナラストモヤシ

ヲトナシクナリ是時殊ニヨシメナモミトモヤナモト同也

ヒイノヤウナル實ノナルヲハラナモミト云黄ナル花ノサキ牛

馬ノオカミニトリ付ナモミノ葉ノ子ハト午ニツクヤ

ウナルヲモチユルナリ又イヌノシリヲ希莖ト云説モア

レトモソレハシカルヘカラスト見タリ

○稀莖散 王氏方 中風ノ痰ヲ治スル第一ノ方也

皂莢

アラクイトホシテスリフルヘシ大ナル五出ノクワサルヲアラ皮ヲコソゲサ子ヲステヨ

礬石

反末セヨ

右各カキ合テ每服一錢卷半錢斗ヲ飯湯ニカキ

立テ服セヨシハラクアリテ沫ヲハクナリハカサレハヨタリヲ

タル也是中風ノ心ホレテ醉ルカ如シ手足ナヘテ収ラヌ

或ハ倒卧或ハ眠ロユカニ目クヲキヲ治スラソク治スレ

ハ氣閉リ痰咽ニツニリテ余ノ藥ヲホトコスト云トモ効

ナシ此藥ニテ痰ヲヨクトカシテハキヌレハ氣通シ

心モ出カモ生スル也

○一方日方

四年ノ中風ノイヌサルヲ治ス

松葉 右細剉テ酒ヲモテ煎メツ子ニ服メ後汁ヲ

少タラスヘシ

○一方千金方

中風ノ頭顔腫タルヲ治ス

杏人

右皮ヲムキ去テ子ツトスリテハレノ上ニ付クセヨ則ヘル也

○一方孟詵

中風ノ音ノカレタルヲ治ス

梨子ヲツキ

シホリテニ四斗ノ眼ヨ

○又方橘皮ヲコク煎メ服セヨ

又桂心ヲ細末メ

少ツ、舌上ニヌリヲケヤウクシテ又舌ヤワラキ音ナラ

リテ物言也

○桂心散 聖惠方 賊風ノ心腹ツリコハリ手足ヒレキ

イタミニ腹満フルルコトアリテ死ナントスルヲ治ス

桂心 麋皮ヲ去ニ分 防風 三分 川芎 三分 乾姜 二分

吳茱萸 湯ニ浸メ七反洗テアフリテ 秦艽 一反 苜蓿豆 三分

檳榔子 三分 枳殼 ヨリコシテヘテ少藜ノカスニ 石菴末メ毎服

四錢水一中盃六分ニ煎メ滓ヲコシテ時ヲ定メ温ニテ

日ニ二三服セヨ賊風ト云ハ冬至ノ日南方ヨリ吹風ニ

アタリヌレハ其風ニソコナワレテ此病ヲウル也則ハナニトモ

オホハ子トモ此風ハ夕ヘニ入コモリテ肉胸ヒラメキイタム久

シテイエサレハ骨ニ通テイタキナリイタキコト止サレハ久メ腫子

ニリテ擦瀝ト云物ニナル附骨疽ト云物ニナリテ筋骨

クサリ損スル也急ニ治スヘシ又久至日風ヲ深クツシム

○大續命湯 聖惠方 賊風ノ身セメ及五藏ニ入テ物

云コトトコラリ神クラクホレテ肩背スクミヒヘテ身ハ夕

ヲカスコトアタハサルヲ治ス

麻黃 根ヲ去 石膏 一反半 桂心 一反半 甘草 三分

川芎 三分 乾姜 三分 炮セヨ 當飯 三分 アケ

杏仁 三分 湯ニヒタシテアフル皮トカリ 右麻末メ毎服四錢水

ヲ去少藜ノカスニセテイ

一中盃入テ六分ニ煎メ滓ヲコレテ時ヲ定ズフツウシテ
日ニ三服セヨ少々汗出ニテ服スヘシ

〇一方王氏方 賊風及瘧風ヲ治ス 瘧風トハ身ノ
スクニテハタラカレヌ中風也 右鐵屑ヲ熱炒

テ極テ熱スル時酒ノ中ニ入テコレテ酒ヲ常ニノムヘシ
〇麻黃湯千金方 瘧瘧風トテ手足ノ骨ヲ物ノカ

フルヤウニ痛ヲ治スヨク常ニハ是ヲカラ脚病ト云是
ハ中風ノ類也病ヤウ物ノ痛クカフルカ如也故ニ是ヲ又

虎齒風ト名ク又ハ白虎風ト云

羌活一反 細辛 黃耆 各半 麻黃 根節ヲ去 黃芩 一分

石薺末メ毎服五錢水ニ盃入テ八分ニ煎メ滓ヲコレ
テ温ニテツケテ四五服メ汗ヲ少クラシテ風ヲ忍ヘシ常
ニ服シテ効アリ

〇羌活散聖惠方 白虎風ノ骨髓疼痛シテ或
ハヲコリ或ハヲコラサルヲ治ス

白虎風ト云ハ風寒暑湿ノ四毒也脉ニ入テヲカス時ハ
血氣塞テ通セス漸ク骨節ノ間止居テ此病ヲ生ス肉ノ
色変スルコトナシ只骨筋ノソコ痛也此ハ病益ハサシ靜ニ

シテ夜コトニ覺ル其痛骨隨ニ通テ忍ヘカラサルコト虎ノ破カ如也故ニ白虎風ト名ク瘧節風ハ痛ニ病コト同ケレトモ氣短ク汗タリ手足ノ筋ツリテノヒカニルコト自在ナラス是ク酒ニ酔テ毛孔ノアキタル時風アタリ若ハ沐浴シテ汗タレ時風ヲ引タ者此病ヲウクル也病源少コトモ其痛是同シ故ニ治方モ聊通ヘキ也

○羌活 側子炮メ皮附ヲ去テ 秦艽カラ去 桂心 木香

川芎 當歸 牛膝 附子 骨碎補 各一匁

桃仁 三十粒 右剉合テ每服三錢ノ量サ水一中盃

生姜七片入テ半分ニ剪メ滓ヲコレテ時ヲ定ヌ温テ服セヨ日ニ二三服セヨ濟生六側子ヲソイテ防風一匁其中二分ヲ加テヨシ

○防風散 白虎風ノ遍身ヒリキ痛ニ一ノ膝腫

ホトヲルヲ治ス 防風一匁 地龍ニタ水ニヒタシテヒラキキヌテ、アフリイ

漏芦ニタ 右細末メ每服二錢若ハ三錢酒ヲアタ

メテ日ニ二三服セヨ

○桂心散 日方 瘧癘風疼痛スルコト忍ヘカラス

手足及ツキメノカナキヲ治ス 桂心アラ皮 丹參

牛膝・附子炮メ時
皮ヲ除 當皈 赤芍藥 木香 草薢

麻黃 各一匁子ヲ去 石薺末メ每服三錢水一中盃生

姜二片入テ半分ニ剪メ滓ヲコシテ食前ニ温テ服セヨ

猪麻及諸冷物油氣ノ物ヲ忌ヘシ

○麻黃散日方 中風ノ腰背ソリツリテ身ヲハメラカス

コトアタワスロヲツメテ物云ヨトアタワス忽ニ死セントスルヲ

治ス是ヲハ角弓反張ト名ク弓ノソルカ如クナル故ニ俗ニ

ハ是ヲソリノ病ト云是也 此藥尤ヨキ也

麻黃子ヲ去テ
ニ匁 防風ニ匁 羚羊角一匁 獨活一匁

五加皮一匁
ウツキノ皮 前胡 桂心一匁
アラ皮ヲ去 附子炮メ皮ヲ去一匁

人參 川芎 當皈各一匁 石膏一匁 杏仁一匁
皮ヲトカリテ
キリ去テ

甘草一匁
アツシ 石薺末メ每服四錢水一中盃生姜二片

入テ六分ニ剪メ滓ヲコシテ定ス二三服温テ服セヨ

○續命散日方 中風ノ齒ヲクサツメテ身軀ツリス

クミ弓ノソルカ如シテ死ントスルヲ治ス

獨活一匁 防風一匁 麻黃ニ匁
子ヲ去 附子炮メ
一匁 細辛三分

川芎三分 桂心一匁 杏仁一匁
皮トカリテ
去テ 當皈三分 石薺末メ

每服四錢水一中盃生姜二分入テ分ニ剪メ滓ヲコ

シテ温ニテ時ヲ定ス服セヨ

〇防風散 人身虚テ汗多ク常ニサムケ立振ワ

ナメクヲ治ス 防風一匁 澤泻一匁 牡蛎一匁 煖テコニセヨ

蒼朮一匁 桂心三匁 アラビヤ 右細末メ毎服ニ錢米飲ニ

テ時ヲ定ス日ニ二三服セヨ 諸ノアフリ物アツムキヲ忌ム

其夏トナリ汗ノ名ヲハ自汗ト云夜子イル時知スシテタル

汗ヲハ盜汗ト名ク是皆風ニソコナレテ出ス所也故ニ中

風ニ是ヲ明ス又人ノ生得ト肩アラク毛孔開テキヒシカ

ラサル物風ヲカサレヤスクシテ此病ヲ得也又ハ夕へ孔キヒシ

ケトモ或ハ酒酔テ風ニアメリ或媯事ニテ風ヲヒキ若ハ

食事ヲハリテ風ニ吹レハ陽氣少クシテ汗ヲヒカヘス故ニ弥

汗タル身ノ中乾キ水ヲ吞少便ナレ筋骨ニカクシ汗ハ身

ノウルヲイレハ皆血也 血ハ肝ニ細メテシカモ心ニツカサトル

故ニ汗多出時ハ血カハイ血尽スレハ心ホレ目ツラシ物忘ス

今ノ人或ハ浴湯ニ或ハ湿室ニ入風ヲ治ト云テソロ汗ヲ

タラスコトアリ極テヲロカナル事也汗ハ陽氣ナル故ニ汗メ

レハ身弥冷風也ト云テ弥汗ヲ失アラロカナル夏ノ至極也

昔宋ノ范雲ト云人傷寒ヲ病徐文伯皆云此病メヤ

スクイヤスヘシ但シイユト云トモ二年ノ后必死ト云范雲カ
云我尚ク朝ニ道ヲ行ハタニ死トモ可也ト云ヘリ何ニ況ニ
年ヲヤ文伯火ヲ以地ヲ燒テ桃ノ葉ヲシ井テ上席ヲシイ
テ其上ニ范雲ヲ卧テ汗ヲタラス次ノ日則イエ又サ范雲甚
ヨロコフ文伯カ云喜ニタラス果後二年有テ死ス是汗
ヲ出ス故ニ立処ニイユト云トモ汗ヲ失ル故命ヲツムル者
也是以古人ハ皆汗ヲラシムコト財ノ如ニ醫道ツタナ
クイヤシ筆一段心地吉ト云テロシキニ汗ヲタラスモ
才ロカナル者也但傷寒若ハ風病ノハタヘニアリテ未肉

骨ニ入ナル時少シ汗ヲタラシテイユルコトアリ其ハ皆其分
有テ定タリヨク心得ワケテ汗ヲハタラスヘキナリ
○牡蛎散 聖惠方 ソロ汗タリ氣ヨロキヲ治ス 牡蛎
白朮 防風 各一反 右細末メ毎服二錢ヲス湯ニテ
時ヲ定ス服スヘシソロサムクハ防風ヲ一倍セヨ汗ヲ留
ラスハ牡蛎ヲ一倍シテ加ヨ
○人參散 日方 人參一反 牡蛎一反半 石膏
甘草一反アフレ 右細末メ毎服二錢スユニテ時ヲ定ス服ヨ
○牡蛎散 本草方 虚勞ノ盜汗トニラサルヲ治ス

カキヲヤクシ 麻黄根 黄耆 各半分 右細末メ

毎服二錢水一盃入テ七分ニ剪メフタカニテ時ヲ定眼ヘシ

○茯苓散 治人方 脾虚シテ盗汗タルヲ治ス

白朮三反 白茯苓二反 右蘇末 毎服五錢水一盃

半入テ生姜三片干棗ニツ入テ八分剪メ滓ヲコレテ

空心食前ニ服セヨ日ニ三度

○防己黄耆湯 治人夏證方 傷寒及湿寒ニシテカ

サレテ脉浮緊細ニシテ身汗多タリテ止スソ口寒ク

風ノイトウヲ治ス 防己四反 黄耆五反

甘草二反 白朮三反 右蘇末メ 毎服五錢水一盃

半生姜五片干棗ニツ入テ七分ニ剪メ滓ヲコレテ空心

服セヨアエキセン者ハ麻黄ヲ加ヨ

○一方 本草並明醫說 自汗盗汗ヲ治ス

桑葉多取集置テサラシホシ 右細末メ 毎服二

三錢温米湯ニテ服セヨ此藥始ハ未タ信セサリキ今度ノ

天ニ人セト多汗ヲウレウ此藥ヲラシエテ服セシムルニ立所

ニ効アリ是ニ依テ深ク秘スル也但シ二三錢若ハ三五錢

ヲ日ニ四五服ス極テ効アリ久ク服スレハ殊ニヨシ盗汗人ニ

アタフルニ多クイユル也。タヤスク人ニ傳ヘカラス。葉葉ヲ取コト朝露ノアルトキツミ取テ則アリホシテ細末セヨト云ヘリ。又秋アレテノ自落ヲ取テ軋タルヲヨシ然レトモ新クトリタルニハ峇レリ一説ニハアラタニ取アツメテコレキニ入テヤウトムシテ火ニアフリテ末セヨトモ云ヘリ何モ同シ義也ヨクヒスヘシ。○防風散 聖惠方 風氣上焦ニ塞テ頭痛シテ口軋ヲ治ス身熱シタルニ吉也冷惡也。

蔓荊子 甘草 アツレ 杏仁 皮トカリヲ去テ 右蘇末メ
每服四錢水一中盃入テ生姜二片加テ五分煎メ滓

ヲコレテ時ヲ定ズ温テ服セヨ 熱麩蒜ヲ忌

○一方日方 頭痛ヲ治ス 胡椒一分 硫黃二分

右スリ合テ軟飯ヲ以テ子ヤシ合テ○此程ニ丸テ頭痛ノ起時冷水ニテ五丸ヲ服セヨ良久メ又服セヨ効アリハ七八丸服セヨ

○一方日方 頭痛ヲ治ス 丁香一分 香白芷二分

此帶 一タウリノヘノ 右細末メ常ニ發ル時大豆ノ劈ホド筆ノ管ニテ鼻ノ穴ニツヨク吹入ヘシヨハク吹ケハ頭ニ登ラハ何モツヨク吹入ヘシ度々吹ハ必ス起ズ 但シ是ヲ吹時病者ノ口ニ

水ヲ合テ吹テ后水ヲハ則ハキステサスルヘシ其故ハ藥鼻
ヨリ咽ニ入テムスル事アリ故ニ吹カル人ノ口ニ水ヲクニスル
也諸ノ鼻ニ吹藥ハ皆如是也是ニ限ルヘカラス又鼻ヨリ
ナツキニ入テイラクトシムセシムコトヤカテナラル也則ナラト
ツレテ頭ノ痛キウレエ則去ル頭モカロクトナリ此藥極テ
効アリ深ク秘ヘシ

〇一方 日方 頭痛恐ヘカラサルヲ治ス 右蒜ヲニツ

皮ヲムキテ汁ヲ病者アヲノキニフセテ葉ノ千クニスクヒテ
鼻ノ穴ニ吹入ヘシ病人イキヲ引テ藥ヲ鼻ニツヨク引入ナ

キニシテナニタタリテ必イユ 又一方 日方

〇頭痛或ハ片頭ヲ痛テ不可忍ヲ治ス 若矢多ニ分

半隻 ニ分 桂心 アラ皮ヲ去 右細末メ古酒ニ子ハクトキテ

紙ニヌリテ頭痛所ニ押付置落ハ又新ク付ヨキワメ
テ効アリ

〇點頭散是齊方 偏正頭痛ヲ治ス片頭イタキ

ヲ偏頭ト云兩方ノ頭ノ痛ヲ正頭痛ト云也

右細末メ每服一錢ヲ吉藜ヲ立スニシテ入テカキ立テ
服スヘシ食后ニ常服スレハ長平愈ス

○一方、本事方 偏頭風ヲ治ス 石蘿蔔自然汁

ヲツキシホリテ鼻穴ニ仰ノケサニ子サセテ枕ヲサセテ入

ヨ丸ヲ痛ハ右ノ鼻ニ入ヨ右ヲ痛ハ左ノ鼻ニ入ヨ左右共ニ

痛ハ兩方ニ入ヨ入サセテハイキヲツヨク引テ藥ヲホツキへ引

入ヘシ此藥十年ヨリ久キ頭ヲ皆イユ極テ効アリ

昔王荊公ト云人頭痛ノウレウルコト十二年此藥ヲ

モキイテ忽ニイユ又后ニ諸人ヲ治スルニ皆イユ也

○神砂田本事方 頭痛及腦風ヲ治ス

塩 硫黃 右ホ分ニ細末メ小麦ノ粉ヲ水ニテ子ツ

トトキテ火ニスヘシテ只ナニシテ藥ヲ入テツキ合テ○是

ホトニ丸メ毎服十五丸ヲ薄荷ノ煎物ニテ茶ヲタテタルニテ

食前ニ服ヨ荊芥ノ煎物ニ酒ヲ少入テ服セヨ吉也但食

後ニ服セムハ猶ヨカルヘシ偏頭ノ頭風ノ諸藥ニ効ナキヲ

治是天下第一ノ藥也云ヘリ秘スヘシ

香白芷 ニ分ニ分火ニアラレ 川芎 一反 甘草 一反 川烏頭 一反 炮メ

右細末メ毎服二錢ヲ薄荷ノ煎物ニ茶ヲ立此藥ヲ入

テカキ立テ食后ニ日ニ二三服セヨ若傷風ノ頭痛事忍

ヒカタクハ葱白根ヲ加テ煎タルニカキ立テ服セヨ

○葉氏方云凡諸中風ニハ七処ノ穴ヲ灸ト云ヘリ是中風

惣穴也一三百會前頂ヨリ後一寸五分頂ノ中ツシケノ中ニアリ多ク灸スニハ耳前髮際三十壯

三ニハ肩井七十一壯 四ハ風市百壯 五ハ絶骨百壯外ノ

クホキ所ナリ六ハ曲地五十一壯 七ハ足ノ三里三百壯或ハ

五百壯若千壯多灸スルヲ吉トス 右七穴ハ皆口傳

ヲモテ知ヘシ但百會ハワラスヘラムスニ合テ左右ノ耳中ニ

有カトヨリ頂ヲスクニ引渡テアテキリテニ堂ニ折テ中

ヲ眉ノカハヒニアテ、頂ヘクラヘテ及フ所ノハシヲ灸ス右ハ

旋毛ト云ヘリ是ハ諸旋毛ノ座席人ニ依テ皆カハル是ニ

是ニ依テ今ノ如ク寸法ヲ取此効ヲサスヘシ次耳前後

際ト云ハ耳ノ中トカリ髮ノライ際也ヤスキ所也次肩井

ハ指ヲ三ウケフセテ肩ノサキノ方ヘ井ノ有ホトヘ指ヲキヒ

シクヨセテヲサヘテ中指ノアタル所也次ニ風ニヤハ膝目トテ

膝カハラノ下兩方ノクホメル穴アリ其膝ノ外ノ目ヨリ主ノ

寸ヲライテ九寸去テ外股ノヲホ筋ニノアヒクホメル所ナリ

此穴居テサスニハ如此効ヲサス若卧テ効ヲサス時ハソサニ

ヒケテ枕ニシテ卧テ下ノ足ヲハ膝ヲカ、メテ下ニシキ上ノ足

ヲハサシテヘテエイニ子テ上ノ手ヲスクニヘテ股ノ上ニヲキテ

其手^中指ノサキニアタル所ヲ灸スル也又立テ灸スルニハ子
ニ立テ手ヲ入テ股ニ手ノ中ノ指ノアタル所也サレヤウモ股ノ
スコレウスニヨリテ筋ノフトクニツアルアヒヲ押テミレハコタウル
ヲサス也立テ効ヲサハ立テ灸セヨ居テ効ヲサハ井テ灸セ
ヨ卧テ効ヲサハ卧灸セヨ是ノミニアラス諸ノ灸モ如此次施
骨ハ足ノ外踝ノ上トヲリノ骨ヲサクリ上レハ俄ニ骨ヒキク
成テクホメル所也假令踝ノ上ニハアカル夏三寸斗ニアリ
次曲池ハヒキヲカメテ外ノ方ノニワノサキニアリ次足ノ三
里ハ足ニ異説アリトモ資生經ノ如ハ足ノ膝ノ目ヨリムカ

イヌ子ノカトノキワヨリ下ルコト三寸計ニテツヨクヲセバ足ノ甲ノ
上ニラドル脉ノ大衝ノ脉ト云止ニル也サツトトニラ子トモヤカ
スカニラトル也此ヲトルコトノトニル時^是ヲウルワシキ三里ト知ヘ
シ是則祕事ノ口傳也以上ノ七穴ハイハ又灸シ度々灸
セヨ此外大推^{カニ推} 風^{カニ} 手ノ三里^{カニ} 巨^{カニ} 胃^{カニ} 腕^{カニ} 元^{カニ}
ノ穴ヲ灸セヨ 又中風脚氣ニハ痛キ所ヲラシテ
ミテコトフル所ヲラサヘテ灸スル是ヲ阿是穴名ク定ル
所ナシ 此外風要灸ハ皆口傳ニアリ悉クスヘカ
ラス 又中風ニ関元ヲ灸スル第一ノ灸也睛ノ下

三寸ニアリ此穴ハ腎肺肝ノ三經ヲ綱メ 又頭風ニハ

百會ヲ灸ス 又卒谷ヲ灸セヨ 耳ノヲリノ上ニカ

三ノ中ニ入車一寸ニアリ

○兩方ノ手ノナヘスクメルニ忽平愈スル灸中風ノ秘灸

手ノクニ大キメトウテノ外ノ方ノニ中大筋ノアヒクホメル所

也五十壯灸スヘシ

○椒目散 治盜汗日久不正

椒目 麻黃根 各半分 石件細末メ毎服一錢ヲ

無灰酒調膏テ食后ニ服ヘシ

○麻黃散 治盜汗 大黃根 半匁 半匁 一錢

栝樓根用ス如シテ 天花粉 一錢 石細末メ卧ニノソシ

テ米醋調持内乳上

○久盜汗ヲ治孟詵 豉一升少炮テ 石清酒三升ニ

ヒタシテ三日置テ汁ヲ取テ心ニニカセテ服也

○盜汗ヲ治 脾虛人ヲ革宮使傳 白朮 三反

白茯苓 右為蘇末毎服五錢水一杯生姜三

片棗二入テ剪メ八分剪テ滓ヲコシテ空心食前三服

○止汗出過多粉汗散選奇方 大黃 一反

竜骨半匁 牡蠣一匁 石件細末緋袋ヲ次ニ盛如
模教用也

○牛黃清心丹 大中風秘藥並調合純緋袋ニ入テ隨身ニ
中風ニタルニニロラコケアケテ可入忽蕪也

治中風緩縱不隨語言蹇澁心忙健忙恍惚

頭目眩冒 胸中煩鬱 痰涎 壅塞

精神昏憤 又治ス氣不足神志不定驚恐怕

怖惡憂慘賦虛煩メ少瞞喜怒無時或ハ發狂

癲神情昏亂

俄頃死メ舌張不能言四肢抱心神恍惚メ不

知人 牛黃一匁別研 羚羊角スリヲコセ

麝香一匁別研 犀角ヤスリニテスリ
ヲロシニ匁 雄黃ハ錢別水飛研

竜腦一匁別研 蒲黃ニ匁半炒 乾山藥七匁 桂心皮ヲ去
七錢半

人參二匁半去苜頭 當飯去苜頭 防風去苜及ニテ
投者ヲ 黃芩

麥門冬心去 白茯苓 桔梗 杏仁去皮尖熬炒黃碎

芍藥一匁二錢半 白斂七錢半 乾姜七錢半

大棗一百蒸去皮硬研
成骨 吟戟 金箔一匁二百ノ筋肉ヲ四百
筋ヲ為衣

右除大棗杏仁及前ノ六味ヲ外為細末入テ餘

藥ヲ停用煉蜜与ヨ

○神効散

治大風黃皮三錢末皂角三錢

制灰 牛黃一分

右三味研作一服温酒ヲ以テ

調下曉食セスレテ次日空心ニ服至二更後ニ取下

虫ヲ或大少長短甲征顏色一ニアラスニ并己上ニ其

病遂ニ愈ユ利下コト唯虫也更ニ別物ナレ人ヲ損ス

後兩三日ハ白粥スメヨ 及氣ヲ補スル藥ヲ進メ

ヨサクヘイニハトリ 猪諸動風等ヲ忌

○中風ニハ唐胡ナラムキチ細ニクダキテ緝ノ袋ニヌイ

クミテ五香煎ノ如ク一アヤ煎メ服スル 秘藥也

○中風宜食干

ナツメ 大根 牛房 蓼 酒
コニ 山芋 イチコ ユ 橘 コウシ

キク ニラクスユ ハカ アサミ ハジ アユ サケ コイ
スキ ハム ナニコ ガム カノシ、 イカ

禁物

クルミ イワヒ ナシ スモ、 モ子井 サクヘイ ヒレコトウ

油物

スシヲシ 井ノシ、 諸ノスシ ナニス タカシナ モ子

モ子ノ采

山椒

ヒハ

ワラヒ

ソハ

ムキ

イカヒラ

ムラサキノリ

カニ

寫本端書云

灵臺一穴

中風百病ニ是ヲ灸秘悉効シアリ

第六椎ノ節ノ下ニアリ

一 中風ノ穴心腰ニ穴第五ノ椎ノ下兩方ニ去夏一寸

五分ニアリ

一 中風ノ秘穴陽化ノ二穴手ノクヒ大指ノトヲリ第ノ

中ニクホメル所ニアリ

頌醫卷第二終

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

